

令和元年度教育に関する事務の管理及び  
執行状況の点検・評価に関する報告書  
(平成 30 年度事業対象)



(日吉津小学校)

令和 2 年 2 月

日吉津村教育委員会

目 次		頁
1	はじめに . . . . .	1
2	点検・評価の基本方針 . . . . .	1
3	「第6次日吉津村総合計画」の基本計画第1章「人を愛する豊かな心を育てよう」における施策と指標の関係 . . . . .	1
4	教育委員会の活動状況について . . . . .	2
5	教育委員会の組織及び主な担当業務 . . . . .	1 0
6	日吉津小学校の状況 . . . . .	1 0
7	米子市日吉津村中学校組合教育委員会について . . . . .	1 1
8	教育委員会が取り組んでいる5項目34施策 . . . . .	1 1
9	自己点検・評価の考え方 . . . . .	1 3
1 0	事務執行状況の点検・評価票 . . . . .	1 4

## 1 はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和元年度に日吉津村教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検及び評価を行った結果についてまとめたものです。

## 2 点検・評価の基本方針

### (1) 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに広く村民に公表しなければなりません。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

### (2) 点検・評価の対象及び方法

本村の教育行政の主要施策については、村政運営の基本となる「第6次日吉津村総合計画」に掲げられています。総合計画は基本目標を「一人ひとりが輝き 夢はぐくむ村づくり」とし、「村民が村づくりの主役である」ことを認識するとともに、未来を担う子どもたちが誇りと夢をもって、心豊かに育つふるさとを築き、次代に引き継ぐことを目指しています。

教育委員会施策は、5項目34施策からなり、それぞれ具体的な成果指標を設定し、評価・見直し・公表を行っていくという行政評価の手法を取り入れています。

従って、この総合計画に掲げられている教育委員会の施策を対象とし、その指標の達成状況の把握を参考にしながら、平成30年度の取組みについて点検・評価を実施しました。

## 3. 「第6次日吉津村総合計画」の基本計画第1章「人を愛する豊かな心を育てよう」における施策と指標の関係

今回の点検・評価に当たっては、基本計画第1章における教育委員会の5項目34施策の基本事業を総合計画審議会でも評価したものを基本としています。

## 4 教育委員会の活動状況について

《 教育委員会構成 》 令和 2 年 2 月現在(評価時点)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	い だ ひろ ゆき 井 田 博 之	R1. 6. 17 ~ R4. 6. 16
教 育 長 職 務 代 行 者	まつ もと たか ふみ 松 本 公 文	H28. 10. 1 ~ R2. 9. 30
委 員	しも ぐち てつ じ 下 口 哲 司	R1. 10. 7 ~ R5. 10. 6
委 員	おん だ じゅん こ 音 田 純 子	H30. 10. 1 ~ R4. 9. 30
委 員	さわ た ゆう じ 澤 田 裕 二	H30. 4. 1 ~ R3. 3. 31

《 教育委員会構成 》 平成 30 年度中(評価対象年度中)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	い だ ひろ ゆき 井 田 博 之	H28. 6. 17 ~ R1. 6. 16
教 育 長 職 務 代 行 者	まつ もと たか ふみ 松 本 公 文	H28. 10. 1 ~ R2. 9. 30
委 員	しも ぐち てつ じ 下 口 哲 司	H27. 10. 7 ~ R1. 10. 6
委 員	おん だ じゅん こ 音 田 純 子	H26. 10. 1 ~ H30. 9. 30
委 員	さわ た ゆう じ 澤 田 裕 二	H30. 4. 1 ~ R3. 3. 31

《 会 議 》

教育委員会の主な活動のひとつは、教育に関する重要な案件の審議等を行う「会議」です。「会議」は原則として毎月中旬～下旬に定例会を開催し、必要に応じて臨時会、視察等を行っています。平成 30 年度は下表のとおり、定例会 12 回、臨時会 1 回を開催し、議案 17 件、協議事項 17 件、報告事項 20 件について審議等を行いました。

平成 30 年 4 月定例会（平成 30 年 4 月 23 日（月））

番 号	件 名	結 果
議案 1	小学校教務主任等の任命について	原案可決
議案 2	日吉津小学校評議員の委嘱について	原案可決
議案 3	社会教育委員の委嘱について	原案可決
議案 4	青少年育成推進指導員の委嘱について	原案可決
議案 5	民俗資料館運営委員会委員の委嘱について	原案可決
議案 6	文化財保護審議会委員の委嘱について	原案可決
議案 7	スポーツ推進審議会委員の委嘱について	原案可決
議案 8	準要保護児童の認定について	原案可決
議案 9	日吉津村指定文化財の新規認定調査の諮問について	原案可決

平成 30 年 5 月定例会（平成 30 年 5 月 30 日（水））

番 号	件 名	結 果
議案 10	準要保護児童の認定について	原案可決
協議事項(1)	小学校計画訪問について	協 議
報告事項(1)	人材育成交流事業について(小・中学生)	報 告

平成 30 年 6 月定例会（平成 30 年 6 月 26 日（火））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	小学校計画訪問について	協 議
報告事項(1)	日吉津村議会 6 月定例議会について	報 告

平成 30 年 7 月定例会（平成 30 年 7 月 26 日（木））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	小学校計画訪問について	協 議
報告事項(1)	国登録有形文化財(建造物)文化審議会答申について	報 告
報告事項(2)	人材育成交流事業について	報 告

平成 30 年 8 月定例会（平成 30 年 8 月 30 日（木））

番 号	件 名	結 果
議案 11	スポーツ推進委員の委嘱について	原案可決
協議事項(1)	日吉津村立日吉津保育所等建て替え検討委員会委員の選出について	協 議
協議事項(2)	日吉津村村議会 9 月定例会について ・日吉津村スポーツ推進支援事業補助金要綱について ・上記事業に伴う補正予算について	協 議
報告事項(1)	ブロック塀について (通学路点検状況。報道件数について)	報 告
報告事項(2)	今夏季の気象について	報 告
報告事項(3)	全国学力・学習状況調査の結果について	報 告
報告事項(4)	人材育成交流事業について(小学生)	報 告
報告事項(5)	外国青年招致事業について	報 告

平成 30 年 9 月定例会（平成 30 年 9 月 27 日（木））

番 号	件 名	結 果
議案 12	準要保護の認定について	原案可決
協議事項(1)	村民運動会（役員選出）	協 議
報告事項(1)	日吉津村議会 9 月定例議会について	報 告

平成 30 年 10 月定例会（平成 30 年 10 月 24 日（水））

番 号	件 名	結 果
議案 13	準要保護の認定について	原案可決

平成 30 年 11 月定例会（平成 30 年 11 月 27 日（火））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	人材交流事業(沖縄読谷村)の来村について	協 議
協議事項(2)	日吉津村議会 12 月定例議会について	協 議
協議事項(3)	平成 31 年度予算の方向性について	協 議
報告事項(1)	国登録有形文化財 蚊屋島神社について	報 告

平成 30 年 12 月定例会（平成 30 年 12 月 19 日（水））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	教育に関する事務管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書について	協 議
報告事項(1)	日吉津村議会 12 月定例議会について	報 告

平成 31 年 1 月定例会（平成 31 年 1 月 18 日（金））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	平成 31 年度予算について	協 議

平成 31 年 2 月定例会（平成 31 年 2 月 21 日（木））

番 号	件 名	結 果
協議事項(1)	教育に関する事務管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書について	協 議
協議事項(2)	日吉津村教育委員会 3 月臨時会の開催について	協 議
協議事項(3)	日吉津村総合振興審議会委員の推薦について	協 議
報告事項(1)	人材交流事業について(小学生、中学生)	報 告
報告事項(2)	小学校給食費について	報 告

平成 31 年 3 月臨時会（平成 31 年 3 月 11 日（月））

番 号	件 名	結 果
報告事項(1)	平成 31 年度教職員人事について	報 告

平成 31 年 3 月定例会（平成 31 年 3 月 28 日（木））

番 号	件 名	結 果
議案 14	準要保護児童の認定について	現案可決
議案 15	鳥取県西部地区教科用図書採択協議会の設置について	現案可決
議案 16	スポーツ推進委員の委嘱について	現案可決
議案 17	日吉津村民俗資料館運営委員の委嘱について	現案可決
協議事項(1)	民生委員推薦会委員の推薦について	協 議
報告事項(1)	日吉津村議会 3 月定例議会について	報 告

報告事項(2)	日吉津村文化財保護審議会について ①蚊屋島神社国登録有形文化財登録について ②日吉津村指定文化財体系の直しについて	報 告
報告事項(3)	人材交流事業について(中学生)	報 告

### 《日吉津村総合教育会議》

平成 26 年 6 月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成 27 年度から村長と教育委員会との協議・調整の場である「総合教育会議」を村長が設置するとともに、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を策定することが義務付けられました。

平成 30 年度は、平成 31 年 1 月 18 日に開催し日吉津村教育大綱の一部改正やそれに基づく施策、平成 31 年度予算について提案し、可決されました。

## 日吉津村教育大綱

平成 28 年 1 月 28 日策定

平成 29 年 2 月 23 日一部改正

平成 30 年 2 月 7 日一部改正

平成 31 年 1 月 18 日一部改正

### 1 大綱の性格と基本理念

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 第 1 項の規定に基づき、日吉津村の教育・文化振興に関する総合的な施策について目指す方向と施策の根本となる方針を定めるものです。

#### 【基本理念】

21 世紀をたくましくしなやかに生きるための学力の定着  
生きがいと豊かさを実感できる生涯学習の推進  
活力あるふるさと日吉津を支える人づくり

### 2 学校教育

#### ○就学前教育

##### ①保小連携

保育所と小学校の連携を図り、幼児教育と学校教育が連続して実践される体制を作ります。

##### ②保育の質の向上

発達と学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図ります。

##### ③子育て・親育ち支援の推進

就労、家族状況など社会の変化に即した親の育ちを応援する学びの場の提供や体験型の学習機会など福祉等と連携し推進します。

## ○小学校教育

### ①確かな学力の定着

少人数学級によるきめ細やかな指導により、基礎的・基本的な知識技能を習得させるとともに、コミュニケーション能力を高め、児童の個に応じた学力の伸長を図ります。自らの将来を展望し、主体的に学び続ける児童の育成を目指し取り組みます。

### ②未来を切り開くたくましく自立した子どもの育成

自然環境や地域の人材をいかした教育内容を創造し、ふるさとに誇りを持ち、人と関わり合いながら、自然体験、社会体験、交流活動などの体験活動を充実させ、心豊かな人間性、社会性を育みます。

### ③特別支援教育の充実

特別支援教育の理解と充実を図り、誰もが可能性を広げ、個性や能力を伸ばしながら、ともに支え合い、成長していく意欲を育てます。

また、障がいのある児童と障がいのない児童が可能な限り共に学び、共に成長するための教育環境を構築します。

### ④地域と共働する学校

P T A活動、子ども会、自治会、各種団体との連携を図り、地域の教育力を活用しつつ、地域に寄与する学校教育を実践します。

### ⑤教職員の指導力の開発

児童が「わかる喜び」「できるたのしさ」を実感する学習意欲を高める授業作りを目指し、各種の研究事業や研修の場を設け、教職員の資質や指導力の継続的な開発を図ります。

## ○中学校教育

### ①小中連携の推進

将来の進路を見据え、一貫した教育方針のもと連携を図ります。

### ②教育機能の整備

米子市日吉津村中学校組合教育委員会、米子市日吉津村中学校組合議会を通じ、教育機能がさらに充実するよう施設・備品の整備を推進します。

### ③関係組織の連携

いじめ、不登校、問題行動等早急に解決しなければならない課題への対応を迅速的確に進めるため、関係組織の連携強化を図ります。

## ○日吉津村の将来を担う人材の育成

日吉津村の将来の発展に寄与する、幅広い視野とグローバルな視点をもった人材を育成します。

## ○防災教育

① 自然災害に対する認識を充実させる教育を推進します。

② 防災意識を高める教育を推進します。

### 3 社会教育

#### ○生涯学習の推進

##### ①学校、家庭、地域の連携（GUTS日吉津っ子の育成）

学校・地域社会・家庭が連携を図りながら、それぞれの場を活かした取り組みを展開します。学校教育と社会教育の連携・融合事業による「GUTS（ガッツ）日吉津っ子」の発展的な取り組みを推進します。

##### ②学習機会、内容の拡充・支援

多様化する村民の学習ニーズを把握し、誰もがいつでも、個人・団体にあった方法で参加できるよう、学習機会及び内容の拡充に努めます。

##### ③ 各種団体・グループの育成と指導者養成

生涯にわたって意欲的に学ぶ団体やグループの育成に努めるとともに、その学習成果を地域や家庭に還元し、地域の課題解決に向け取り組んでいく人づくりや活動をリードする指導者の養成を進めます。

#### ○子どもを地域ぐるみで育てる体制の充実

子どもたちにかかわる大人のネットワークや研修体制を構築します。

#### ○人権尊重の村づくり

##### ①「日吉津村における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす総合計画」の策定 同和問題をはじめ、さまざまな人権課題の解決に向けた「日吉津村における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす総合計画」に基づき、施策の推進に努めます。

##### ②人権・同和教育研修の充実

「村人権・同和教育推進協議会」の活動推進に努め、小地域懇談会や保育・学校教育との連携、企業・事業所での研修、行政関係職員の研修の充実を図り、理解を深めます。

#### ○生涯読書の推進

##### ①読書活動の推進

ヴィレステひえづ内の村立図書館を中心として、生涯にわたる読書の推進活動を展開し、村民の読書及び読書活動を活発化します。子ども図書館等との連携による幼児児童の読書推進や生涯読書の推進、県立図書館との連携による図書サービスの充実を図ります。

##### ②図書館の整備

村民のニーズを踏まえ、村民に役立つ情報提供や生涯読書を推進する公共図書館の整備を行います。

### 4. 社会体育

#### ①村民総スポーツの推進

体力保持、健康増進のために、各世代の参画や村民自ら企画運営に参画できる体

作りや指導者養成に努め、村民総スポーツの推進を図ります。

②スポーツ団体、スポーツ少年団の自主的活動の支援

各種団体・サークルの活動を支援するとともに、指導者の確保・養成に取り組みます。

③スポーツに親しみやすい環境作り

農業者トレーニングセンター、海浜運動公園、日野川河川敷運動公園等、体育施設の整備に努めます。

## 5 伝統・文化の継承保存

民俗資料館の適正な管理運営に努めるとともに、地域の文化財を身近に感じ、ふるさとの歴史や文化についての理解を深める機会を提供します。

### 《学校訪問》

教育委員は、村立小学校における教育活動の状況を把握し、課題や取組状況について学校と教育委員の共通理解を深め、日吉津村の教育行政の更なる充実と発展に資することを目的に年間を通して計画的に学校訪問を行っています。

学校訪問の内容は、管理職等との学校運営の状況、成果、課題などの情報交換や授業参観などです。平成30年度は下記のとおり実施しました。

訪問日	訪問学校名
平成30年7月3日	日吉津村立日吉津小学校

### 《視察研修等への参加》

教育委員は、年間を通して、教育行政に関する情報収集、教育に関する調査、研究のために視察研修等へ参加しています。平成30年度は下表のとおりです。

開催日	事業名・内容	場所
平成30年5月24日	西部地区町村教育委員会連絡協議会総会・研修会	大山町
平成30年7月9日	県市町村教育委員会研究協議会定期総会・研究大会	倉吉市
平成30年7月31日	市町村教育委員会委員会研修会(県主催)	倉吉市
平成30年8月8～11日	人材育成交流事業検証視察	沖縄県読谷村
平成31年1月21日	西部地区町村教育委員連絡協議会研修会	大山町

### 《学校行事等への参加》

教育委員は、年間を通して個人または全員（複数）で、小・中学校の行事等へ参加し、教育活動の状況等の把握に努めています。平成30年度の主な参加行事等は下表のとおりです。

開催日	学校名	内容
平成30年4月10日	日吉津小学校	入学式

開催日	学校名	内容
平成30年4月10日	箕蚊屋中学校	入学式
平成30年5月26日	日吉津小学校	運動会
平成30年9月8日	箕蚊屋中学校	体育祭
平成30年10月27日	日吉津小学校	きらきらフェスティバル
平成30年11月4～5日	箕蚊屋中学校	文化祭
平成31年3月11日	箕蚊屋中学校	卒業式
平成31年3月19日	日吉津小学校	卒業式

《関係行事等への参加》

教育委員は、年間を通して関係行事等へ参加しています。平成30年度の参加行事等は次表のとおりです。

開催日	事業名・内容	場所
平成30年4月14日	チューリップマラソン大会	日野川河川敷
平成30年9月2日	村生涯学習村づくり大会	ヴィレステひえづ
平成30年10月14日	村民運動会(雨天)	農業者トレーニングセンター
平成30年11月3～4日	日吉津村ふれあいフェスタ	ヴィレステひえづ 小学校体育館
平成31年1月3日	村成人式	ヴィレステひえづ
平成31年1月20日	村人権・同和教育研究集会	ヴィレステひえづ
平成31年3月10日	村芸能大会	ヴィレステひえづ

## 5 教育委員会の組織及び主な担当業務

教育委員会の組織及び主な担当業務は、次のとおりです。

教育委員会—事務局	教育総務係	教育委員会の運営 学校事務、教育財産の管理、教育予算
	学校教育係	就学前及び学校教育の指導
	社会教育係	社会教育、生涯学習
	人権・同和教育係	人権教育推進
	青少年育成係	青少年育成
	文化財保護係	村文化財、民俗資料館
	社会体育係	生涯スポーツ、体育協会、スポーツ少年団
	コミュニティセンター	生涯学習、コミュニティ活動
	図書館	図書館法に規定する図書館業務
	小学校	
	米子市日吉津村中学校組合立箕蚊屋中学校	

## 6 日吉津小学校の状況

日吉津小学校の状況は次のとおりです。

### (1) 生徒数及び学級数 H30.5.1 現在 (単位：人、学級)

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	内特別支援	合計
男子	14	15	17	15	14	15	(6)	90
女子	26	17	13	14	13	18	(3)	101
合計	40	32	30	29	27	33	(9)	191
学級数	2	2	2	1	1	2	4	14

### (2) 学校施設

区 分	施 設 規 模
校地面積	18,947 m <sup>2</sup> 校舎 7,273 m <sup>2</sup> 校庭 9,978 m <sup>2</sup> プール 1,969 m <sup>2</sup>
校舎	教室棟 RC造3階 2,030 m <sup>2</sup> 、管理棟 RC造平屋 425 m <sup>2</sup> 特別教室棟 RC造2階 467 m <sup>2</sup> 特別附属棟 W造2階 697 m <sup>2</sup> 体育館 S造平屋 998 m <sup>2</sup>
空調設備	教室棟、管理棟、特別教室棟、特別附属棟の全室空調完備

太陽光発電	60Kw(30Kw×2台) 30Kwは防災対応型(自立運転機能付)
耐震等	耐震補強、非構造物の耐震化対応済み
防災拠点化 (防災機能強化)	体育館避難所対応(非常用発電、空調設備) 職員室災害対策室として無停電化(太陽光発電 10Kw・蓄電設備 16.1Kwh)

## 7 米子市日吉津村中学校組合教育委員会について

米子市日吉津村中学校組合は、組合を組織する米子市（巖地区、春日地区、伯仙地区）と日吉津村の中学校事務を共同処理するため、組合立箕蚊屋中学校を設置し、箕蚊屋中学校に関する教育事務を管理執行するもので、組合の執行機関としての教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に規定する事務を管理執行しています。

## 8 教育委員会が取り組んでいる5項目34施策

### 1. 生涯学習のむらづくり

施 策	頁
①学校、家庭、地域の連携（GUTS日吉津っ子の育成）	I-1
②読書推進活動と公共図書館サービスの充実	I-2
③生涯学習活動の推進	I-3
③生涯学習活動の推進(デジタルアーカイブ)	I-4

### 2. 学校教育の振興

#### 1) 就学前教育

施 策	頁
①保小連携など、教育機関相互の連携	I-5
②家庭教育・子育て支援の推進	I-6

#### 2) 義務教育

##### (1) 小学校教育

施 策	頁
①活力のある学校づくり	I-7
①活力のある学校づくり(陸上及び体幹指導)	I-8
①活力のある学校づくり(スクールソーシャルワーカー)	I-9
①活力のある学校づくり(外国語指導助手(ALT))	I-10
①活力のある学校づくり(人材育成交流事業)	I-11
①活力のある学校づくり(30人学級)	I-12
②社会に適応できる子どもの育成	I-13
③特別支援教育の充実	I-14

④開かれた学校教育の実践	I - 15
⑤教職員の資質の向上	I - 16

## (2) 中学校教育

施 策	頁
①教育機能の整備	I - 17
②社会教育分野の取り組み	I - 18
③関係組織の連携強化	I - 19

### 3. 社会教育とコミュニティ活動

施 策	頁
①学習機会、内容の拡充、支援	I - 20
①学習機会、内容の拡充、支援(地元人材育成奨学金支援事業)	I - 21
②各種団体・グループの育成と指導者養成	I - 22
②各種団体・グループの育成と指導者養成(中・高校生) I - 26 へ	I - 23
②各種団体・グループの育成と指導者養成(ゲストティーチャー) I - 26 へ	I - 24
④各種イベントの開催(グループ育成含む)	I - 25
④各種イベントの開催(ヴィレステひえづ)	I - 26
④各種イベントの開催(グループ育成事業)	I - 27
⑤民俗資料館の管理運営と地域文化振興	I - 28

### 4. 社会体育の振興

#### 1) スポーツ・レクリエーション活動と施設整備

施 策	頁
①村民総スポーツの推進	I - 29
②各種大会の開催	I - 30
③少年スポーツの健全育成	I - 31
④指導者の確保・育成	I - 32
⑤施設の適正管理と有効活用	I - 33

### 5. 人権尊重・同和問題への取り組み

施 策	頁
①「あらゆる差別をなくす総合計画」の策定	I - 34
②人権・同和教育研修の充実	I - 35
③村人権・同和教育推進協議会の活動推進	I - 36

## 9 自己点検・評価の考え方

教育委員会が平成 29 年度に実施した事業に対して、教育委員自らが点検・評価しています。

また、点検・評価を実施するにあたっては、目標に対する達成度や進捗状況等を勘案しながら総合的に評価することとし、次に掲げる区分によって評価しています。

### 【施策評価基準】

#### (5 段階の施策評価方法)

評価	目的等の重要度(期待)	コストパフォーマンス	目標等の達成度(成果)	関連波及効果
	※この施策の目的が、現在、村として重要度、あるいは優先度が高いかどうか。また、今後への期待度が高いかどうかを評価するもの。	※前年同様の成果を得るために、予算・人員・時間などを節約できたか。あるいは、予算・人員・時間などは前年同様でも、成果が高まったかどうかを評価するもの。	※当該年度において、施策の目標がどの程度達成され、成果があったかを評価するもの。	※その施策の実施によって、(所期の目的以外に)何か波及効果があったかどうか評価するもの。(例えば、「村民との協働性」「人材育成」「環境への配慮」など)
A	施策としての重要度・優先度が極めて高い。(今後大いに期待できる)	コストパフォーマンスが極めて高かった。	目標が十分達成され、極めて大きな成果(効果)があった。	施策の実施により、村民との協働性・納得性・人材育成・環境への配慮など波及効果が極めて高かった。
B	施策としての重要度・優先度が高い。(今後に期待できる)	コストパフォーマンスが高かった。	目標に向かって、成果(効果)があった。	成果により、村民との協働性・納得性・人材育成・環境への配慮など、波及効果があった。
C	施策の重要度・優先度は普通。村の施策として引き続き進めたい。	概ね前年同様に施策が実施された。	目標が概ね達成され、一定の成果(効果)があった。	特段には波及効果はなかった。
D	施策としての重要度・優先度はあまり高くない。(今後の期待度も低い)	コストパフォーマンスが低かった。	目標があまり達成されず課題が残り、改善の余地がある。	あまり成果がなかったために、村民との協働性・納得性・人材育成・環境への配慮などに課題が残った。
E	施策としての重要度・優先度が極めて低い。(今後の期待度も極めて低い)	コストパフォーマンスが極めて低かった。	目標は達成されず、課題は大きく、抜本的な見直しが必要である。	成果がなかったために、村民との協働性・納得性・人材育成・環境への配慮などに課題が大きい。

## 10 事務執行状況の点検・評価票

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他			
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25) ①学校、家庭、地域の連携(GUTS日吉津っ子の育成)	実施期間	継続	団体等	青少年育成村民会議、村子連他

**平成30年度実施状況**

実施状況	◇カルチャー土曜塾 ・5つの定期コース(漢字・パソコン・日本文化・スポーツ・ものづくり)全6回と体験コース(雪遊び)を実施。 体験コース(日野川探検)は雨天により中止。 ・児童の参加実人数64人、講師・ボランティアの参加実人数19人。(定期コース参加者+定期と重複しない体験コース参加者)
成果等	・漢字検定やタイピング検定への挑戦が児童の自信につながった。 ・縦割りの活動をすることで、異学年交流が促進され、上級生のリーダーとしての意識が醸成された。 ・授業とは違う学習経験により、学びに対する意欲が向上した。 ・児童の日吉津村への愛着が増した。 ・地域の大人の児童に対する関心が高まった。
課題	・「GUTS(ガッツ)日吉津っ子」育成事業の整理と、地域での理解を深め、地域の協力者を増員が必要。 ・各種団体との連携と共通認識をさらに高めることが必要。 (GUTS日吉津っ子の育成 ⇒ G=がんばる子ども、U=ゆったり育つ子ども、T=たくましい子ども、S=複数形)

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	将来、日吉津村を担う者を育成するためには、学校・家庭・地域の連携の重要度は極めて高い。 A	A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。 C	C
目標等の達成度	学校・家庭・地域の連携についてはやや課題が残る。 C	全ての面で今一番求められている課題。さらなる連携を。成果の具体的根拠があると良い C
関連波及効果	地域の協働性が増した。 B	B

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	GUTS日吉津っ子育成事業		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算 消耗品費	300	県支出金 250 一般財源 50
	実績 消耗品費	299	県支出金 250 一般財源 49
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 消耗品費	300	県支出金 166 一般財源 134
(令和2年度)	計画 消耗品費	300	県支出金 166 一般財源 134
(令和3年度)	計画 消耗品費	300	県支出金 166 一般財源 134

**教育委員の意見・指摘**

マナー教育の充実(礼法、食事、訪問、茶道、華道、着付等)を図ってはどうか

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 ( )団体 (○)その他		
1. 生涯学習の村づくり	施策 (P25) ②読書推進活動と公共図書館サービスの充実	実施期間	継続	団体等	鳥取県立図書館

**平成30年度実施状況**

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書の収集と登録(H30年度3,121冊購入)</li> <li>・利用の促進(利用者登録H31年3月末現在2,594名)</li> <li>・子育て・シニア・ティーンズなどニーズに応じた図書コーナーの設置(いきいきコーナー・すくすくコーナー・ティーンズコーナー・季節ごとのテーマ展示)・音読コーナー新設・児童図書コーナーに英語の本コーナー新設</li> <li>・小学校・保育所共催の読書推進活動の実施(読む読むキャンペーン)</li> <li>・県立図書館との連携による相互貸借により、利用者のニーズに対応。</li> <li>・図書館に関連する講演会・イベントの開催(絵本ワークショップ・夜の図書館)</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる年代の村民が利用しやすいように環境を整備し、図書館サービスを提供した。(H30年度貸出数75,101冊)</li> <li>・計画的に資料を収集することができた。(H30年度末34,244冊所蔵)</li> <li>・小学校との連携</li> <li>・県立図書館および県内公共図書館との連携(H30年度相互貸借1,525冊)により、利用者のニーズに応えた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館が読書活動だけにとどまらず、住民の問題解決ができたり、居場所づくり、就学・就労のきっかけづくりになったりするなど、様々な機能があることについて広く周知することができなかった。利便性から村外の利用者が徐々に増えつつある中、村の図書館を住民にさらに活用してもらえるように利用促進を図ったが、村内利用はあまり増加しなかった。住民の方への周知方法を検討しなければならない。</li> </ul>

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	複合施設の機能を活かして、図書館サービスを展開することにより、村民の読書活動が活発化することは、村民の生涯学習の重要拠点となる。	A
コストパフォーマンス	自動貸出機と窓口対応で円滑かつスピーディーに貸出することができた。窓口対応が必要な業務に専念できた。	A
目標等の達成度	計画的に蔵書を収集し読書環境は整いつつある。あたまいき音読教室やヴィレステサロンなど新規イベントもでき村民へのアプローチはできたが、住民の新規利用者は微増だった。	B
関連波及効果	ヴィレステひえづの3機の連携事業や他の事業と連携することで相互の参加者が増えたり、図書館を利用するきっかけになったりと相乗効果が見られた。	B

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	図書館管理運営		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算	備品購入費、委託料、使用料等 15,806	県支出金 1,256 一般財源 14,550
	実績	備品購入費、委託料、使用料等 15,530	県支出金 1,256 一般財源 14,274
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	備品購入費、委託料、使用料等 16,707	一般財源 16,707
(令和2年度)	計画	備品購入費、委託料、使用料等 16,707	一般財源 16,707
(令和3年度)	計画	備品購入費、委託料、使用料等 16,707	一般財源 16,707

**教育委員の意見・指摘**

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25) ③生涯学習活動の推進	実施期間	継続	団体等	ふれあいフェスタ 実行委員会

平成30年度実施状況	
実施状況	◇ふれあいフェスタ(文化の部) ・11月3日、4日に開催【出展者数 31団体(前年比-2)、10個人(前年比0)、作品展示会場入場者数 1,791人(前年比-477)】 ◇ふれあいフェスタ(イベントの部) ◇生涯学習むらづくり推進大会 ◇ヴィレッジカレッジ については I-20 に記載。
成果等	◇ふれあいフェスタ(文化の部) ・多様な団体・グループ、村民一般から多数の作品出展があり、村民全体の文化活動の成果を発表することができた。
課題	◇ふれあいフェスタ(文化の部) ・出展者が減少傾向にあるので、新たに出展者を呼びかける必要がある。

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	豊かな心づくり、まちづくりにとって重要度は極めて高い。 村民の創作意欲を高め、生活文化の振興を図るなど重要度は極めて高い。	A		A
コストパフォーマンス	出展者が自ら搬入・搬出を行う。準備・後片付けは実行委員で実施。	A		A
目標等の達成度	活動の成果や課題が見えて、今後の実践の方向性が見えてきた。 村民全体の文化活動の成果が発表できた。新たな実践者が発掘できた。	A		A
関連波及効果	小学校体育館のイベントなどとの相乗効果で、多方面との交流が図られた。 村民のニーズの把握ができた。	A		A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	各種大会(ふれあいフェスタ)			
	支出の積算内訳		金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現 予 算	役務費等	25	一般財源 25
	実 績	役務費等	20	一般財源 20
(平成31年度) (令和元年度)	予 算 現	役務費等	25	一般財源 25
(令和2年度)	計 画	役務費等	25	一般財源 25
(令和3年度)	計 画	役務費等	25	一般財源 25

教育委員の意見・指摘	
入場者数の大幅な減少は、作品展示・集計方法等どこに課題があるのか検証する必要がある	

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 (○)その他		
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25) ③生涯学習活動の推進	実施期間	H28～ 継続	団体等	国立国会図書館 県立図書館

平成30年度実施状況	
実施状況	先進的な取り組みを行っているホームページを閲覧し、機能確認等を行った。 県立図書館の郷土史料デジタル化計画(平成30年度～)の動向調査。
成果等	デジタルアーカイブについてさまざまな手法や規模について認識を深めた。 デジタルアーカイブシステム構築費用について認識を深めた。
課題	デジタル化事業に要する人的配置・体制づくり。 庁舎内でデジタルアーカイブ化について共通認識と推進協議。 県立図書館のデジタル化構想に各自治体が参加できるとすれば、どのような準備が必要か調査が必要。

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	本村の歴史や風俗を未来に残すデジタル化は日吉津村への愛着や郷土の誇りを持つことにつながる。	B		B
コストパフォーマンス	具体的な予算を立てていないため、研究・調査のみ行った。	C		C
目標等の達成度	デジタル化にむけての具体的な計画を立てることができなかった。	C	(出来なかったためD(意見))	C
関連波及効果	デジタル化事業が県内外で見られる中でじらつかの準備・計画をする体制づくりが必要。	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	郷土のデータベース化事業		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算	-	
	実績	-	
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	-	
(令和2年度)	計画	-	
(令和3年度)	計画	-	

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 1) 就学前教育	施策	(P26) ①保小連携など、教育機関相互の連携	実施期間	継続	団体等	

**平成30年度実施状況**

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇日吉津村教育協議会(小学校・保育所・児童館・子育て支援センター)の開催 年1回</li> <li>◇小学校教員による保育体験 夏季休業中に17名の教員が1人2日実施。</li> <li>◇保小連絡会の開催 定期開催年4回 随時開催</li> <li>◇保小合同研修会の開催 年1回</li> <li>◇保保合同研修会の開催 年10回 (村内他園参観 夏、秋各1回)</li> <li>◇保育所の公開保育年1回、中学校区の保小中連携の研修会年1回を実施。</li> <li>◇小学校教員と保育士の授業交流 参観日や授業交流の相互参観は日常的に実施</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、児童館、子育て支援センターとも相互に連絡を取り合い、必要に応じて小学校と情報や課題を共有することにより、子どもの成長に合わせた支援をすることができた。</li> <li>・保育所年長児と小学5年生が交流を行うなどの具体的な連携により、入学時の適応に効果を上げた。</li> <li>・小学校教職員の日吉津保育所での保育体験により、保育の実態を具体的に知ることができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小連絡会及び、5歳児健診結果の情報共有の開催時期の検討</li> <li>・保小の職員の交流内容の検討</li> </ul>

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	教育機関の連携協働の重要度はきわめて高い。	A		A
コストパフォーマンス	研修会や交流活動においても、費用をかけずにやっている。	A		A
目標等の達成度	就学児の実態や状況に応じて適切に対応している。	A	5歳児健診の効果が表れている	A
関連波及効果	各機関の連携によって子ども自身の支援になるだけでなく、保護者からの相談がどの機関でも情報共有できるようになり、家庭の安心感につながっている。	A		A

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度		事務局運営		
		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予 額算		-	
	実績		-	
(平成31年度) (令和元年度)	現予 額算		-	
(令和2年度)	計 画		-	
(令和3年度)	計 画		-	

**教育委員の意見・指摘**

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 1) 就学前教育	施策	(P26) ②家庭教育・子育て支援の推進	実施期間	継続	団体等

**平成30年度実施状況**

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇家庭教育の重要性の発信 とっとり子育て親育ちプログラムの保育所保護者実施 全保護者実施 定例化</li> <li>◇研修会の開催 新1年保護者対象に研修会を実施 就学時健診時</li> <li>◇家族ふれあい読書の推進に係る研修や講演会の実施</li> <li>◇家庭と連携を図った基本的な生活習慣の定着や強化週間の設定</li> <li>◇村立図書館を活用した読書推進</li> <li>◇第3子以降私立幼稚園就園費無償化事業</li> <li>◇私立幼稚園就園奨励費補助事業</li> <li>◇PDCAサイクルに沿った園評価の実施と公表</li> <li>◇保護者の子育て相談体制の整備</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の年間研修計画が年度当初に立てられ、意図的、計画的な研修実践により、保育士の指導力向上につながっている。</li> <li>・子育て支援プロジェクト(福祉保健課・教育委員会・児童館・子育て支援センター・子育てアドバイザーによる組織)で各機関でPDCAサイクルを意識した取組がなされている。</li> <li>・保育所への指導助言など要望と必要に応じて行うことができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と協働した基本的な生活習慣及び学習習慣の定着の取組の発信</li> </ul>

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	日吉津村の次世代育成に係る課題で重要度は極めて高い。 A	A
コストパフォーマンス	関係機関が連携を図り、県の資源や他町との協働によってコストを抑え、効果を上げている。 A	A
目標等の達成度	各機関のPDCAサイクルが機能し、目標達成が図られている。 A	A
関連波及効果	早期からの計画的な支援を行い、家庭を含めた支援のための情報を関係機関で共有できる。 A	A

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	事務局運営、子育て支援事業		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算 賃金、報償費、委託料、負担金補助及び交付金	750	国庫補助金 232 一般財源 518
	実績 賃金、報償費、委託料、負担金補助及び交付金	668	国庫補助金 232 一般財源 436
(平成31年度) (令和元年度)	予算現 賃金、報償費、委託料、負担金補助及び交付金	2,893	国庫補助金 663 一般財源 2,230
(令和2年度)	計画 賃金、報償費、委託料、負担金補助及び交付金	2,893	国庫補助金 663 一般財源 2,230
(令和3年度)	計画 賃金、報償費、委託料、負担金補助及び交付金	2,893	国庫補助金 663 一般財源 2,230

**教育委員の意見・指摘**

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2) 義務教育 (1) 小学校教育	施策 (P27) ① 活力のある学校づくり	実施期間	継続	団体等	

**平成30年度実施状況**

実施状況	<p>◇農産物生産体験事業・・・社会科や総合的な学習のなかで、地域の生産者をゲストティーチャーとして迎え、大豆づくりを年間を通じて体験する学習を進める。収穫祭をゲストティーチャーとともにいき、収穫の喜びと感謝の気持ちを育てた。</p> <p>◇老人クラブとの交流事業・・・サツマイモづくりを通じて高齢者との交流を図った。収穫祭をともにいき、収穫の喜びと感謝の気持ちを育てた。年間を通じて、学校敷地内の除草作業を通じた交流を行った。</p> <p>◇小学校校庭芝生維持管理事業(H24～)・・・芝生化による運動促進、体力の向上、多様な遊戯活動が出来る。ボランティアの維持管理活動を通して学校、家庭、地域の連帯強化と拠点づくりを行った。</p> <p>◇水泳特別指導事業(H27～)・・・「卒業までに100m以上泳げるようになる」を目標に夏季休業中に、水泳専門員による指導を行い、全児童に具体的な目標を持たせることにより、自信や達成感を与え、日吉津小学校の卒業生としての誇りを持たせることが出来た。</p> <p>◇農産物生産体験事業・・・児童が読谷村との交流事業で日吉津村を紹介するときに、大豆が採れる村と説明。子どもたちの心の中に印象深く残る生産体験となっている。</p> <p>◇老人クラブとの交流事業・・・収穫祭では、交流した多くの児童が、「老人クラブの皆さんと一緒に採れた芋を食べることができて嬉しかった。」と感想を発表。収穫をとおして地域の方と交流できた喜びを実感している。</p>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちは、直接指導を受けられることにより、教師の支援、指導以上の学習内容と地域の方との交流や地域との結びつきが豊かになり、大切な体験的学習となっている。</li> <li>郷土愛、感謝、友情、自立心、克己心などを育て、誇りが持てる子ども達になっている。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な学習の輪を広げ、学社連携を行う。</li> </ul>

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	地域の人と交流しながらの学習体験は、重要度が高い。自信や達成感、郷土愛や誇りを持たせることは大切。	郷土愛、達成感を持つ事が自尊感情にもつながる
コストパフォーマンス	地域ボランティアの協力により、交流事業を行った。	
目標等の達成度	地域の人から教えてもらうことで、家庭や学校では学べないことを身につけることができ、児童にとって重要な交流・体験学習となっている。	成果コメントは目標に沿った文言のほうが良い
関連波及効果	学校と地域との交流(児童の学習意欲・活力ある学校運営など波及効果は大きい。	

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	小学校校庭芝生維持管理事業、小学校プール管理		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算 賃金、消耗品、燃料費	979	一般財源 979
	実績 賃金、消耗品、燃料費	813	一般財源 813
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 賃金、消耗品、燃料費	851	一般財源 851
(令和2年度)	計画 賃金、消耗品、燃料費	851	一般財源 851
(令和3年度)	計画 賃金、消耗品、燃料費	851	一般財源 851

**教育委員の意見・指摘**

--

第6次総合計画施策評価(H30)

担当課(教育委員会) 担当者(横田)

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27) ①活力のある学校づくり	実施期間	H28～ 継続	団体等	

平成30年度実施状況	
実施状況	◇外部指導者による陸上及び体幹指導講習会の実施
成果等	・陸上の基礎的な技術の習得 ・体幹運動、バランス感覚の習得 ・指導者の意識、指導技術の向上
課題	・外部の人材の専門性のさらなる活用

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	次世代の体力作りで重要度は極めて高い。	A		A
コストパフォーマンス	コストを抑え、効果を上げている。	A		A
目標等の達成度	児童の意識改革に貢献している。	A	成果の判断の基準は何か	A
関連波及効果	体力、技術力の向上。	A	学力向上と共に体力の向上は、重要な課題	A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	小学生体力向上事業			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予 額算	報償費	200	一般財源 200
	実 績	報償費	200	一般財源 200
(平成31年度) (令和元年度)	現予 額算	報償費	200	一般財源 200
(令和2年度)	計 画	報償費	200	一般財源 200
(令和3年度)	計 画	報償費	200	一般財源 200

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27) ①活力のある学校づくり	実施期間	H29～ 継続	団体等	

**平成30年度実施状況**

実施状況	スクールソーシャルワーカー(SSW)を1名配置。 ◇問題を抱える児童が置かれた環境への働きかけを延べ69件行った ・家庭環境支援や発達障がい等に関する支援 ◇関係機関との連携を延べ97件行った ・福祉保健課や医療機関、児童相談所等との連絡・調整・情報交換等
成果等	・福祉保健課と連携して問題を抱える児童が置かれた環境への働きかけを行い、改善の兆しが見られた。
課題	教職員、関係機関にスクールソーシャルワーカー(SSW)の役割の明確化とその周知

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	家庭支援は喫緊の課題であり重要度は高い。	A	発達障がい、特性を持つ児童の家庭への支援は重要度が極めて高い	A
コストパフォーマンス	他課、他機関との協働により、コストパフォーマンスは非常に高い。	A		A
目標等の達成度	児童の教育環境の改善につながった。	A		A
関連波及効果	関係機関との連携が深まった。	A		A

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	スクールソーシャルワーカー活用事業			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算	賃金、旅費、消耗品、使用料及び賃借料等	1,898	県支出金 1,125 一般財源 773
	実績	賃金、旅費、消耗品、使用料及び賃借料等	1,878	県支出金 1,125 一般財源 753
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	賃金、旅費、消耗品、使用料及び賃借料等	2,121	県支出金 1,240 一般財源 881
(令和2年度)	計画	賃金、旅費、消耗品、使用料及び賃借料等	2,121	県支出金 1,240 一般財源 881
(令和3年度)	計画	賃金、旅費、消耗品、使用料及び賃借料等	2,121	県支出金 1,240 一般財源 881

**教育委員の意見・指摘**

--

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>		実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策 (P27) ①活力のある学校づくり	実施期間	H30～ 新規	団体等	

**平成30年度実施状況**

実施状況	H30は、外国青年招致初年度。外国青年招致事業(JETプログラム)の派遣時期が8月から1年更新の為、4月～7月までは、外国語指導助手委託業務会社に委託した。 ◇外国語指導助手(ALT)と担任との複数指導体制による英語活動の実施。
成果等	◇複数指導体制による指導力の向上 ◇具体的な子どもの変化 ①外国人と関わることで、外国人に対する違和感が減少した。 ②子どもから英語を使う人へのアプローチ(会話)が増加した。 ③英語に興味を示す児童が増加した。(様々な場所に掲示してある英語を読もうとしたり、英語の意味を友だちと確認し合ったりする姿が見られた)
課題	外国語指導助手(ALT)の社会教育活用

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	外国語指導助手(ALT)の小学校における重要度は極めて高い。	A	早くからネイティブな英語を学ぶことはとても重要であるとする	A
コストパフォーマンス	小学校と連携する各機関が調整を行い、コストを抑える中で成果を上げている。	A		A
目標等の達成度	目標が十分達成され、極めて大きな成果があった。	A		A
関連波及効果	小学校と連携する各機関での活躍もあり、子どもの人材育成等波及効果が極めて高かった。	A		A

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	外国青年招致事業			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算 報酬、賃金、委託料、借上料、負担金補助及び交付金等	4,434	雑入 200 一般財源 4,234	
	実績 報酬、賃金、委託料、借上料、負担金補助及び交付金等	4,411	雑入 225 一般財源 4,186	
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 報酬、借上料、負担金補助及び交付金等	4,708	雑入 300 一般財源 4,408	
(令和2年度)	計画 報酬、借上料、負担金補助及び交付金等	4,708	雑入 300 一般財源 4,408	
(令和3年度)	計画 報酬、借上料、負担金補助及び交付金等	4,708	雑入 300 一般財源 4,408	

**教育委員の意見・指摘**

保育園からの英語教育の更なる充実を図り、小学校英語教育へと継続していくことが必要

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27) ①活力のある学校づくり	実施期間	継続	団体等	

平成30年度実施状況	
実施状況	<p>◇小学校5、6年生による沖縄人材交流事業(H26～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県読谷村訪問・交流 8/8～8/11 5年男1人 女2人、6年男1人 女4人 計8人 引率:教員1人、事務局2人</li> <li>・沖縄県読谷村子ども会来村・交流 2/7～10 5年男5人 女2人 引率 4人</li> </ul> <p>風土・文化・生活習慣が異なる沖縄へ、次世代を担う子どもたちを派遣。読谷村の人々との交流をとおして、郷土の歴史や文化に気付く、郷土への愛着を深めることにより、次世代の人材を育成した。</p> <p>◇中学生1、2年生によるオーストラリア語学研修(H30～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3/20～3/26 1年男1人、2年男4人 女1人 計6人 引率:教員1人、事務局2人</li> </ul> <p>郷土の未来を担う子どもたちを、文化や言語、自然環境や生活習慣が異なるオーストラリアに派遣する。現地の人と実際に英語でコミュニケーションすることを通して、将来の村づくりに貢献できる人材を育成した。</p>
成果等	研修に参加した児童生徒が、ふるさと・家庭を見つめ直し、温かく人に接する等言動の変化を確認できた。
課題	沖縄及びオーストラリアの現地における活動内容の精査

平成30年度施策評価			
評価項目	庁内評価		教育委員評価
目的等の重要度	ふるさと日吉津に誇りを持ち、明日の日吉津を担う子どもの育成において、極めて重要度が高い。	A	A
コストパフォーマンス	事前・事後学習及び交流活動においても、費用をかけずに行っている。	A	A
目標等の達成度	異文化や、ふるさと日吉津のよさ、英語習得に向けた意欲の向上が見られ、意識改革につながっている。	A	A
関連波及効果	沖縄人材交流事業では、読谷村から児童も来村し、民泊を行う等村民との関わりも広がった。	A	村で民泊を受けてもらえる家庭を確保する必要がある A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	人材育成交流事業		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現 予 算	旅費、負担金補助及び交付金等	4,797 県支出金 1,772 一般財源 3,025
	実 績	旅費、負担金補助及び交付金等	4,573 県支出金 1,772 一般財源 2,801
(平成31年度) (令和元年度)	現 予 算	旅費、負担金補助及び交付金等	8,005 県支出金 2,035 一般財源 5,970
(令和2年度)	計 画	旅費、負担金補助及び交付金等	8,005 県支出金 2,035 一般財源 5,970
(令和3年度)	計 画	旅費、負担金補助及び交付金等	8,005 県支出金 2,035 一般財源 5,970

教育委員の意見・指摘
<ul style="list-style-type: none"> <li>・語学研修を行う為にも、保・小一貫した英語教育が重要</li> <li>・沖縄、オーストラリアでの研修によって得られた目標や経験がこれからの人生の糧となり、ふるさとに感謝の気持ちを持ち、ふるさとの為に役立つことができるよう成長してくれることと考える</li> </ul>

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2) 義務教育 (1) 小学校教育	施策	(P27) ① 活力のある学校づくり	実施期間	H30～ 新規	団体等	

平成30年度実施状況	
実施状況	<p>◎学級基準 村…全学年30人(県基準以下。3～6学年31人～35人を2学級=500万負担) [31人で2組、ただし30人であっても2組にする場合あり] 県…1、2学年30人(負担なし)、3～6学年35人(200万負担) [31人又は36人で2組] 国…1学年35人 2～6学年40人(負担なし) [36人又は41人で2組]</p> <p>◇全学年30人学級の導入 H30年度から村の学級編成方針に基づいて、加配教員を配置(県負担金)し、学習活動への適応を図るため、低学年を中心に学習支援員2人(村雇用)を配置した。</p> <p>1学年(県)1組19人2組20人、2学年(県)1組16人2組15人、3学年(村)1組15人、2組15人、4学年25人、5学年26人、6学年(村)1組16人、2組15人</p>
成果等	児童一人一人の、個性に応じたきめ細やかな指導をより一層充実し、児童の学校生活への円滑な適応や良好な人間関係の構築、生活習慣の確立等に取り組み、学力のさらなる定着・向上を目指したことにより、子どもたちが能力を発揮できるようになった。
課題	少人数学級をより効果的に生かす指導実践の研究

平成30年度施策評価			
評価項目	庁内評価	教育委員評価	
目的等の重要度	学校における児童・保護者のニーズは複雑化・多様化しており、担任が指導する児童数を減らすことや支援員を配置することは、重要度が極めて高い。	A	少人数学級による指導は、全てに有効多様化している児童一人ひとりに応じたきめ細やかな指導はとても重要と考える A
コストパフォーマンス	校内及び校外の研修等をとおして、子どもたちの教育に反映される等、資質向上が図られている。	A	A
目標等の達成度	より多くの大人が児童に関わることで、児童は落ち着いて、安心して学校生活を送ることができた。	A	A
関連波及効果	授業中に、児童の学習活動を充実させるだけでなく、児童の相談等にも丁寧に対応することができた。	A	A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	30人学級整備事業		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算 賃金、負担金補助及び交付金等	15,412	一般財源 15,412
	実績 賃金、負担金補助及び交付金等	15,125	一般財源 15,125
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 賃金、負担金補助及び交付金等	15,486	一般財源 15,486
(令和2年度)	計画 給料、負担金補助及び交付金等	17,486	一般財源 17,486
(令和3年度)	計画 賃金、負担金補助及び交付金等	19,486	一般財源 19,486

教育委員の意見・指摘	
少人数学級により、児童一人ひとりに対する観察力、洞察力が求められている	

第6次総合計画施策評価(H30)

担当課(教育委員会) 担当者(松尾)

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27) ②社会に適應できる子どもの育成	実施期間	継続	団体等	

平成30年度実施状況	
実施状況	◇パソコンやインターネットを活用した学習の推進
成果等	・パソコンやインターネットを活用した学習の推進が図られた。
課題	・教職員系、児童系のパソコン全て ⇒ Windows7のサポート終了(R2.1.14)に対応し、Windows10機器に更新する必要がある。 ・小学校学習指導要領改訂に伴い、2020年度(R2)から必修化される「プログラミング教育」への対応。

平成30年度施策評価					
評価項目	庁内評価		教育委員評価		
目的等の重要度	情報化教育の重要度は高い。	B			B
コストパフォーマンス	限られた予算で、情報教育が行えた。	A			A
目標等の達成度	情報教育に役立った。	A			A
関連波及効果	情報教育の状況について、参観日などを通して保護者に伝えた。	B			B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)					
年度	事務局運営、小学校教育振興				
		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算	委託料	331	一般財源 331	
	実績	委託料	331	一般財源 331	
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	委託料、借上料、備品購入費	3,626	繰入金 124	一般財源 3,502
(令和2年度)	計画	委託料、借上料	3,581	一般財源 3,581	
(令和3年度)	計画	委託料、借上料	3,581	一般財源 3,581	

教育委員の意見・指摘	
正しい情報化教育が求められている	

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2) 義務教育 (1) 小学校教育	施策	(P27) ③特別支援教育の充実	実施期間	継続	団体等	

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級を4学級設置し、個別指導の充実を図った。毎月LD(学習障がい)等専門員の訪問をうけ、児童の状況を職員で把握し、対応を図っている。また、就学相談については校内で特別支援教育コーディネーターを配置し、担任と保護者や特別支援学校や医療機関など校外の関係機関についている。</li> <li>・知的学級(継続)</li> <li>・情緒学級(継続)</li> <li>・病弱学級(H26～R1) 医療的ケアのため看護師を配置している。</li> <li>・難聴学級を開設した(H30～) 児童の状況に対応した学習環境の整備のため、マイクシステムや補聴器等の機器を導入した。</li> </ul>
成果等	保護者の合意形成のもとに児童の障がいの状況に応じた特別支援学級の設置がなされている。近隣の特別支援学校と担任が連携を図り、障がいに応じた専門的な教育を充実させることができた。特別支援学級以外の困り感を持つ子どもたちについては特別支援学校との通級指導教室を利用するなど具体的に個人に応じた対応を行うことができた。
課題	・個に応じた指導や支援の充実。

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	児童一人ひとりの個性に応じた教育の重要度は極めて高い。	A		A
コストパフォーマンス	児童の状況に適切に対応できた。	A		A
目標等の達成度	きめ細かい指導ができた。	A		A
関連波及効果	交流学習により、相互の理解を一層深めた。	A		A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	医療的ケア体制整備事業、難聴学級体制整備事業、特別支援学級体制整備事業、小学校教育振興		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算 賃金、備品購入費等	3,524	県支出金 975 一般財源 2,549
	実績 賃金、備品購入費等	3,408	県支出金 1,045 一般財源 2,363
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 賃金等	6,021	県支出金 1,067 一般財源 4,954
(令和2年度)	計画 賃金等	2,755	一般財源 2,755
(令和3年度)	計画 支援学級編成の予測不能 経費不明	-	

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27) ④開かれた学校教育の実践	実施期間	継続	団体等	

平成30年度実施状況	
実施状況	◇総合学習へのゲストティーチャー招聘 ・PTA活動、地域子ども会、自治会、各種団体との連携を図るとともに、地域の教育力を活用し、地域の伝統や文化を伝え、「生きる力」を育んだ。
成果等	・地域の教育力の活用は、子どもたちの学習をより充実させるという効果をもたらしているが、学校に来られる地域の指導者や保護者にとっても、子どもたちとのふれあいは大きな喜びとなっている。
課題	・取り組みの継続。

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	地域に根ざした学校教育は、重要度が高い。	B		B
コストパフォーマンス	地域ボランティアの協力により事業を行った。	A		A
目標等の達成度	ゲストティーチャーの定着。 読書量の増加。	B		B
関連波及効果	地域との関り、読書活動の重要性など村民に広く知ってもらうことができた。	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)					
年度	支出の積算内訳			金額	財源内訳(特財等)
	現予算	実績	計画		
平成30年度				-	
(平成31年度) (令和元年度)	現予算			-	
(令和2年度)	計画			-	
(令和3年度)	計画			-	

教育委員の意見・指摘	

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27) ⑤教職員の資質の向上	実施期間	継続	団体等	

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の質的向上を図るため、教職員の資質や指導力の向上に努めた。</li> <li>・「教えて考えさせる授業」(H29～)研修により教職員の指導力向上を図り、児童の「理解・問題解決・定着」を図った。</li> <li>・県事業により、教員を「県外先進校派遣研修」(1週間 千葉県柏市立柏小学校)に1人派遣した。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教えて考えさせる授業セミナー」へ参加。(教育長、指導主事、校長、教頭、教員)</li> <li>・専門家を招いて「教えて考えさせる授業」校内研修会を実施し、教職員の指導力向上を図った。</li> <li>・講師を招いて、授業方法の研修を行った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教えて考えさせる授業」研修の継続と、授業方法の定着。</li> <li>・「県外先進校派遣研修」の継続と増員。</li> </ul>

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	教職員の質的向上を目指した学校教育の充実は重要度が高い。	A		A
コストパフォーマンス	概ね前年同様に施策が実施された。	C		C
目標等の達成度	研究会等で様々なスキルを学び、指導方法などの改善につながっている。	A	児童の変化も追加してはどうか	A
関連波及効果	少人数指導による、学力向上を図った。	A	教育の中でも、やはり学力向上は追及して頂きたい	A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	事務局運営、小学校教育振興			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算	報償費、旅費、負担金補助及び交付金	354	一般財源 354
	実績	報償費、旅費、負担金補助及び交付金	353	一般財源 353
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	報償費、旅費、負担金補助及び交付金	1,090	一般財源 1,090
(令和2年度)	計画	報償費、旅費、負担金補助及び交付金	1,090	一般財源 1,090
(令和3年度)	計画	報償費、旅費、負担金補助及び交付金	1,090	一般財源 1,090

教育委員の意見・指摘	

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 (○)その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (2)中学校教育	施策	(P28) ①教育機能の整備	実施期間	継続	団体等	中学校組合

**平成30年度実施状況**

実施状況	◇教育施設の充実 ・部活外部指導 ・屋内運動場下屋改修工事 ・空調設備設置機械設備工事、空調設備設置電気設備工事(両工事 R1年度繰越)
成果等	・組合立による財政運営により、安定的な学校運営がなされている。
課題	・教育環境の充実と生徒の学力向上。

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	教育環境の整備の重要度は極めて高い。	A		A
コストパフォーマンス	中学校組合による運営により、活力ある学校運営がなされている。	B		B
目標等の達成度	前年同様。	C		C
関連波及効果	特に何もない。	C		C

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	中学校管理		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算 負担金補助及び交付金	11,474	一般財源 11,474
	実績 負担金補助及び交付金	11,063	一般財源 11,063
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 負担金補助及び交付金	12,987	一般財源 12,987
(令和2年度)	計画 負担金補助及び交付金	12,987	一般財源 12,987
(令和3年度)	計画 負担金補助及び交付金	12,987	一般財源 12,987

**教育委員の意見・指摘**

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 (○)その他		
2. 学校教育の振興 2) 義務教育 (2) 中学校教育	施策	(P28)	実施期間	継続	団体等	中学校組合
		②社会教育分野の取り組み				

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民運動会、盆踊り大会など地域行事への参加がみられた。</li> <li>・村民運動会、盆踊り大会、チューリップマラソンにボランティアとして参加した。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民運動会やチューリップマラソンのボランティアスタッフとして楽しみながら参加。毎年スタッフ参加することが定着し、貴重な地域活動の場になっている。</li> <li>・村民運動会や盆踊り大会のスタッフとして参加することによって、運営に参加する楽しみや充実感を感じながら協働することができた。</li> <li>・育った地域へ貢献する活動や村行事の運営に参加することで地域行事に親しみをもち、自尊感情を高め、幅広く地域の人とふれあうことができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの継続。</li> </ul>

平成30年度施策評価			
評価項目	庁内評価		教育委員評価
目的等の重要度	地域に溶け込んだ中学生の活動は、重要度が高い。	B	B
コストパフォーマンス	既存の地域行事を利用した。	B	B
目標等の達成度	ボランティア参加は継続している。	B	B
関連波及効果	地域行事に参加することにより、地域での子供たちへの関心が高まり、よりよい社会環境の形成につながった。	B	B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	中学校管理		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算	-	
	実績	-	
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	-	
(令和2年度)	計画	-	
(令和3年度)	計画	-	

教育委員の意見・指摘

第6次総合計画施策評価(H30)

担当課(教育委員会) 担当者(松尾)

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>		実施主体	( )村直営 (○)団体 (○)その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (2)中学校教育	施策 (P28) ③関係組織の連携強化	実施期間	継続	団体等	中学校組合、PTA等

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箕蚊屋中校区地域安全協議会による、児童・生徒の下校時を中心とした、青色回転灯車によるパトロールの実施。</li> <li>・青少年育成日吉津村民会議による、夏休み期間を中心とした、村ミニパトによる村内夜間パトロールの実施。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パトロールすることにより、保護者や地域住民が地域の環境を把握することができ、地域での見守り支援に関心が高まった。</li> <li>・パトロール時に子どもに声掛けすることにより、非行問題の防止につながった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携の継続。</li> </ul>

平成30年度施策評価			
評価項目	庁内評価	教育委員評価	
目的等の重要度	安全・安心の学校生活の確保は、重要度が高い。	B	B
コストパフォーマンス	ボランティアの協力。	B	B
目標等の達成度	米子市少年育成センター、学校、警察等関係機関との情報共有。	B	B
関連波及効果	地域への防犯意識。	B	B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	中学校管理		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算	-	
	実績	-	
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	-	
(令和2年度)	計画	-	
(令和3年度)	計画	-	

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ①学習機会、内容の拡充・支援	実施期間	継続	団体等	青少年育成村民会議、ふれあいフェスタ実行委員会他

平成30年度実施状況	
実施状況	<p>◇ふれあいフェスタ(イベントの部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月4日、小学校体育館で開催。下足で体育館に出入りできるようにし、雨天対応できるようにした。(H29～)</li> <li>・高校生が、販売コーナーへ出店、ステージイベントに出演した。また、スタッフボランティアでイベントステージの司会を行った。</li> </ul> <p>◇生涯学習むらづくり推進大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課等と合同で「むらづくり講座」を開催(9月2日・参加者74人)。地域づくりについて研修した。</li> </ul> <p>◇子どもの日まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月6日・参加者105人(子ども46人、大人59人)村子連と青少年育成村民会議の連携により実施した。</li> </ul> <p>◇成人式の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会が主体で式典を開催(1月3日・参加者28人)。日吉津村図書館、村長、教育長、恩師が選書した「二十歳の20冊」の中から、本人が選択した本を贈呈した。</li> </ul> <p>◇家庭教育講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学時健診で、保護者に家庭教育について講演した。</li> </ul> <p>◇ヴィレッジ☆カレッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴィステヒえづに来館するきっかけになるよう、4つの講座を開催した。(5講座開催予定のところ講師の都合につき1講座中止)</li> <li>・10月28日「絵本の世界を楽しもう～子どもの成長と本のかかわり」 参加者16人(幼児4人、大人12人)</li> <li>・11月10日「陶芸で干支の置物をつくろう」第一回 参加者10人</li> <li>・12月1日「陶芸で干支の置物をつくろう」第二回 参加者10人</li> <li>・1月13日「お茶を使った料理をつくろう」参加者12人</li> <li>・2月23日「おいしい珈琲を淹れよう」参加者14人</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生のイベント参加があった。</li> <li>・地域の交流が広がった。</li> <li>・学習機会の提供ができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ内容を地域に還元する主体的意識や場をつくる必要がある。</li> <li>・偏らない多様な内容の学習機会提供のため、ニーズの発掘。</li> </ul>

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	学習機会等の拡充は生涯学習の村づくりのために重要度が高い。	A		A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	団体ごとの主体性の確立はできてきているが、各団体間の連携には課題が残る。	B		B
関連波及効果	ヴィステヒえづが学びの場となるきっかけになった。	A		A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	社会教育事業一般			
	支出の積算内訳		金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算	報償費、賃金、負担金補助及び交付金等	2,906	県支出金 172 一般財源 2,734
	実績	報償費、賃金、負担金補助及び交付金等	2,831	県支出金 172 一般財源 2,659
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	報償費、負担金補助及び交付金等	3,300	県支出金 178 一般財源 3,122
(令和2年度)	計画	報償費、給与、負担金補助及び交付金等	3,300	県支出金 178 一般財源 3,122
(令和3年度)	計画	報償費、給与、負担金補助及び交付金等	3,300	県支出金 178 一般財源 3,122

教育委員の意見・指摘	

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>			実施主体		(○)村直営 ( )団体 ( )その他	
3. 社会教育とコミュニティ活動		(P29)	実施期間		H28～ 継続	団体等
施策	①学習機会、内容の拡充・支援					

平成30年度実施状況	
実施状況	◇地元就職し、村から通勤する場合に村奨学金返還額を助成する制度「日吉津村地元人材育成奨学金支援事業」の周知。
成果等	・村奨学金返還中の方に案内をしたが、申請が無かった。
課題	・居住人口増の一助になるが、効果が出るまで時間がかかる。 ・これから借り入れを計画している方は、返済計画が立てやすく、問い合わせもある。

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	人口施策の一助となり、重要。	A		A
コストパフォーマンス	今年度の申請は無かった。	E		E
目標等の達成度	今年度の申請は無かった。	E		E
関連波及効果	今年度の申請は無かった。	E		E

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	地元人材育成奨学金支援事業			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算	負担金、補助及び交付金	180	一般財源 180
	実績	負担金、補助及び交付金	—	
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	負担金、補助及び交付金	180	一般財源 180
(令和2年度)	計画	負担金、補助及び交付金	180	一般財源 180
(令和3年度)	計画	負担金、補助及び交付金	180	一般財源 180

教育委員の意見・指摘	
奨学金免除を充実、優秀な人材を村内就職へと導く努力が必要	

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29)	実施期間	継続	団体等	青少年育成村民会議、村子連他
		②各種団体・グループの育成と指導者養成				

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの日まつり」を村子ども会育成連絡協議会と青少年育成村民会議等が共催するなど連携を図りながら進めた。</li> <li>・村子ども会育成連絡協議会では、育成者研修会、リーダー研修、夏のキャンプ、資源回収、レク&amp;クリスマス会を開催した。</li> <li>・青少年育成村民会議では、夏休み巡回パトロール、委員研修等を実施した。</li> <li>・村青少年育成村民会議の構成について規約改正を行った</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業をとおして、村子ども会育成連絡協議会の指導者育成と子ども会のリーダー育成等の、人づくりを進めることができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な活動の推進。</li> <li>・青少年育成推進指導員は、条例定数7名に対して、現状5名と定数減の状態なので拡充が必要。</li> </ul>

平成30年度施策評価				
	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	協働と参画のむらづくりにおいては重要度は高い。	A		A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	青少年育成推進指導員の充実に課題が残る。	D	成果の記述と達成度に違和感あり	D
関連波及効果	地域人材の育成。	C		C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	青少年育成		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算	負担金補助及び交付金等	511 一般財源 511
	実績	負担金補助及び交付金等	510 一般財源 510
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	負担金補助及び交付金等	611 一般財源 611
(令和2年度)	計画	負担金補助及び交付金等	611 一般財源 611
(令和3年度)	計画	負担金補助及び交付金等	611 一般財源 611

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	( )村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29)	実施期間	新規	団体等	
		②各種団体・グループの育成と指導者養成				

平成30年度実施状況	
実施状況	I-26に集約
成果等	
課題	

平成30年度施策評価				
	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度				
コストパフォーマンス				
目標等の達成度				
関連波及効果				

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	中・高校生自主サークル活動支援事業			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算	I-26に集約		
	実績			
(平成31年度) (令和元年度)	現予算			
(令和2年度)	計画			
(令和3年度)	計画			

教育委員の意見・指摘	

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	( )村直営 (○)団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29)	実施期間	新規	団体等	
		②各種団体・グループの育成と指導者養成				

**平成30年度実施状況**

実施状況	I-26に集約
成果等	
課題	

**平成30年度施策評価**

	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度				
コストパフォーマンス				
目標等の達成度				
関連波及効果				

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	ゲストティーチャー登録事業		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	I-26に集約		
(平成31年度) (令和元年度)			
(令和2年度)			
(令和3年度)			

**教育委員の意見・指摘**

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 (○)団体 (○)その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	(P29) ④各種イベントの開催 (グループ育成含む)	実施期間	継続	団体等	盆踊り花火大会実行委員会、芸能大会実行委員会他

**平成30年度実施状況**

実施状況	<p>◇平和展 第40回記念公演として演劇集団ありによる「昭和二十年、夏」～大山口列車空襲～をヴィステホールで公演。あわせて日吉津小学校6年生が修学旅行で勉強してまとめたものなどを出会いストリートに展示した。</p> <p>◇盆踊り花火大会 8月16日に開催。自治会、企業等からの協賛金により花火を打ち上げた。実行委員数44名 協賛(全自治会、企業等85社)賞品点数133点、抽選券配布数1,200枚。悪天候のため抽選会はヴィステひえづ(ヴィステホール)で開催。</p> <p>◇芸能大会 3月10日(日)開催。(3月9日夜リハーサル) 会場:ヴィステひえづ(ヴィステホール) 参加組数15組、参加人数172人、実行委員32人で実施した。</p>
成果等	<p>◇平和展 ・広報の期間が短かったが村内の各グループにお知らせをして、たくさんの方が来場された。 ・日吉津小学校の児童2名が演劇に参加。観客に小学生もいて、幅広い年代の方の参加がみられた。</p> <p>◇盆踊り花火大会 ・悪天候のため盆踊りは中止になったが、ヴィステホールで「ひえづのうた」のうたと踊りの披露や、抽選会・花火大会にたくさんの方が参加された。 ・小学生に日吉津音頭とかんど踊りの練習会を実施し、ふるさと意識の高揚や地域の人との交流ができた。</p> <p>◇芸能大会 ・幅広い年齢層の出演が増え、自治会、各種団体に「芸能大会出演」が定着してきている。自主参加、自主運営も進んでいる。</p>
課題	<p>◇平和展・・・講師の確保。</p> <p>◇盆踊り花火大会・・・雨天時の抽選券配布の場所の検討が必要。</p> <p>◇芸能大会・・・最初から最後までとおして観る観客が少ない。</p>

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	平和理念の普及。ふるさと意識を高揚させ、村民の連携と活性化を図ったり、芸能大会、グループ活動の成果の発表、鑑賞の場の提供は極めて重要である。 A	A
コストパフォーマンス	盆踊り花火大会は寄付金集めも含め、実行委員を中心に大会準備から後片付けまで手作りの大会。 A	A
目標等の達成度	自治会、商工会、各種団体の協力があり、夜には天候も回復し、花火の打上げがあり世代、地域を超えた交流の場となった。 A	A
関連波及効果	平和展など夜開催の事業は、普段ヴィステひえづに来館されない人の参加があった。芸能大会は村民の自主的な出演が見られる。 A	A

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	各種大会(平和展、盆踊り花火大会、芸能大会)		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算 報償費、消耗品費、手数料	30	一般財源 30
	実績 報償費、消耗品費、手数料	20	一般財源 20
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 報償費、消耗品費、手数料、借上料	125	一般財源 125
(令和2年度)	計画 報償費、消耗品費、手数料、借上料	125	一般財源 125
(令和3年度)	計画 報償費、消耗品費、手数料、借上料	125	一般財源 125

**教育委員の意見・指摘**

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ④各種イベントの開催(ヴィステ ひえづ)	実施期間	H28~ 継続	団体等

**平成30年度実施状況**

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生対象事業・・・村内在住の高校生を対象に「チューリップ染め」(8月4日)を行った。</li> <li>出会いストリートの活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>①小・中・高校生の自習、交流の場 ②日吉津の匠展 ③チューリップマラソンの写真展 ④個人・団体の作品展 ⑤教室・講座を出会いストリートで行うことで、参加者以外の施設利用者への波及効果を狙った。</li> </ul> </li> <li>ヴィステ楽座(自主的な活動グループ)             <ul style="list-style-type: none"> <li>コント、落語、ミニコンサート等を開催し、ヴィステひえづを参加者も出演者も楽しんだ。</li> </ul> </li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生対象事業・・・該当年齢者の氏名宛で案内葉書を送付したが、参加が少なかった。(1人) 作品は図書館内に展示し、優しい色合いの染物が好評だった。</li> <li>出会いストリートの活用は好評。教室・講座への関心も高まった。</li> <li>ヴィステ楽座(自主的な活動グループ)の活動は好評。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヴィステひえづを主会場に行うさまざまなイベントに高校生の活躍の場を作り、幅広い世代へ向けて積極的な参加を呼び掛ける必要がある。</li> </ul>

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	村内の人材を発掘する重要な施策である。 A	A
コストパフォーマンス	ヴィステひえづを拠点に、経費をおさえた交流ができた。 A	A
目標等の達成度	高校生のイベント参加が少なかった。他の事業の目的は達成した。 B	B
関連波及効果	ヴィステひえづを拠点として、様々な交流ができた。 A	A

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	ヴィステひえづ拠点事業、「ひえづのうた」制作事業(ダンスR1~)		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予 額算	報償費、消耗品費、通信運搬費	27 一般財源 27
	実績	報償費、消耗品費、通信運搬費	21 一般財源 21
(平成31年度) (令和元年度)	現予 額算	報償費、消耗品費、通信運搬費	365 一般財源 365
(令和2年度)	計 画	報償費、消耗品費、通信運搬費	365 一般財源 365
(令和3年度)	計 画	報償費、消耗品費、通信運搬費	365 一般財源 365

**教育委員の意見・指摘**

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ④各種イベントの開催 (グループ育成事業)	実施期間	継続	団体等	

**平成30年度実施状況**

実施状況	<p>実施計画時に I-25 に集約としていたが、事業内容の移行がなされていなかったため、I-27 として再掲載。</p> <p>◇新講座・体験教室                  ・外部講師によるつまみ細工体験教室(7月)、UVレジンアクセサリー作り体験教室(8月)、ウッドロボット作り体験教室(8月)、クリニカルアート体験教室(9月)、親子でパン作り体験教室(10月)、エコクラフト体験教室(10月)、パン作り体験教室(2月)を開催。</p> <p>◇各種学級・教室・講座                  ・成人学級として、ハーバリウム体験教室(5月)、陶芸で干支の置物作り教室(11月・12月 I-20 ヴィレッジ☆カレッジと共催)、水引アクセサリー教室(12月)を開催。                  ・青年学級として、アロマクラフト体験教室(石鹸作り)(7月)を開催。                  ・ちびっこ公民館として、アロマクラフト体験教室(バスボム作り)(8月)を開催。</p> <p>◇3機能合同企画工作会等                  ・母の日工作会(5月)、父の日工作会(6月)、ちょっぴりこわい映画会(7月)、ミニミニ縁日(8月)、クリスマスイベント(12月)を開催。</p>
成果等	<p>◇新講座・体験教室・各種学級・教室・講座                  ・講座の後、アンケート実施。クラフトテープが11月からグループとして活動。                  ・土日開催や親子で参加できる事業を増やした結果、普段ヴィレステひえづの利用がない父親の参加が増加した。また、母親から「子どもと一緒にできる内容で参加し易かった。」という意見があった。                  ・親子向けの事業の参加をきっかけに、成人学級や新講座への参加とつながり、継続的な利用が増えた。</p> <p>◇3機能合同企画工作会等                  ・土日開催で、家族での参加が多くヴィレステひえづに来館する機会が増えたことが、リピーターの増加につながった。</p>
課題	<p>◇体験教室                  ・グループにつながる講座を開催。</p>

**平成30年度施策評価**

評価項目	庁内評価	教育委員評価
目的等の重要度	「楽しく集える癒しと学びの場」としてあらゆる世代に親しまれる環境づくりに努め、生涯学習の場として講座を開催することは、ヴィレステひえづを利用していただくうえで重要度は極めて高い。	A
コストパフォーマンス	年間通じて講座を実施したことが、施設利用者の増加につながった。	A
目標等の達成度	親規グループが出来た。	A
関連波及効果	講座や展示をすることにより、交流の場となった。 土日開催の講座では、いつも参加されない若い年代の方の参加があった。	A

**実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)**

年度	学級・講座・教室		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算 報償費、消耗品費	110	一般財源 110
	実績 報償費、消耗品費	106	一般財源 106
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 報償費、消耗品費	135	一般財源 135
(令和2年度)	計画 報償費、消耗品費	135	一般財源 135
(令和3年度)	計画 報償費、消耗品費	135	一般財源 135

**教育委員の意見・指摘**

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ⑤民俗資料館の管理運営と地域文化振興	実施期間	継続	団体等	

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日吉津小学校3年生児童が社会科の授業で見学した。</li> <li>・ふれあいフェスタにあわせて資料館を開館し、イベント(クイズラリー)を開催した。また、ヴィレステひえづで民俗資料館の出張展示を実施した。</li> <li>・蚊屋島神社国登録有形文化財登録記念講演「蚊屋島神社の謎を解く 社殿に込められた日吉津の歴史と信仰」講師 京都工芸繊維大学 清水重敦教授 9月22日開催 参加者65名</li> <li>・村指定文化財9箇所管理委託。</li> <li>・蚊屋島神社を国登録有形文化財(建造物)として新登録。11月2日官報告示</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗資料館の資料を小学生の授業に利用することで、子どもたちに視覚的な教材を提供することができた。</li> <li>・実際に使われていたものを保管・展示していくことで、地域の歴史や文化について関心を高める機会につながった。</li> <li>・ふれあいフェスタにあわせて開館することで、様々な年代の入館者があり、世代間の交流につながった。また、出張展示を実施したことで、施設利用者にも民俗資料館の収蔵品をご覧いただいた。</li> <li>・蚊屋島神社で登録記念講演を開催したことで、建造物の見所や歴史的な背景など地域の歴史を学ぶ機会につながった。</li> <li>・村内初の国登録有形文化財が登録されたことで、地域の歴史や文化に対する関心が高まった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗資料館の効果的なPRが必要である。</li> <li>・文化財を通じて、地元の歴史や文化について継続的に学べる機会の場づくりと人材育成。</li> </ul>

平成30年度施策評価			
評価項目	庁内評価	教育委員評価	
目的等の重要度	地域への愛着と誇り、歴史文化への興味関心を育む拠点として、重要度が高い。	B	B
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C	C
目標等の達成度	小学校での授業や教育委員会の事業で民俗資料館を活用した。	B	B
関連波及効果	村民のふるさと意識の向上に期待できる	B	B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	文化財保護事業、資料館管理運営		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予 額算	報酬、委託料等	609 県支出金 55 一般財源 554
	実績	報酬、委託料等	513 県支出金 55 一般財源 458
(平成31年度) (令和元年度)	現予 額算	報酬、委託料等	663 県支出金 100 一般財源 563
(令和2年度)	計 画	報酬、委託料等	663 県支出金 100 一般財源 563
(令和3年度)	計 画	報酬、委託料等	663 県支出金 100 一般財源 563

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		(○)村直営 (○)団体 ( )その他	
4. 社会体育の振興 1) スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P29) ① 村民総スポーツの推進	実施期間	継続	団体等	チューリップマラソン・12hソフトバレー実行委員会

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第40回記念大会チューリップマラソン(4月15日:1,884人)   洪井陽子選手を招待し、トークショーや抽選会を実施した。前日の風雨の影響が心配されたが、1,884人の参加があった。</li> <li>・第17回”熱血”12時間ソフトバレーボール大会(6月2日:313人)</li> <li>・カルチャー土曜塾 Let's スポーツ 6回 延べ64人   ニューススポーツ・・・ラダーゲッター、カローリング、フリーテニス   パラスポーツ(障がい者スポーツ)・・・ブラインドサッカー   スポーツ・・・グラウンドゴルフ、ドッチボール</li> <li>・バドミントン教室(毎週土曜日開催)</li> <li>・ニューススポーツ体験会(3月9日 スポーツ吹矢:14人)</li> <li>・全国大会等に出場する選手等を支援する「スポーツ推進支援事業補助金交付要綱」を10月に制定し、9人の申請者に補助金を交付した。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各大会とも定着してきており、体力づくりに役立っている。</li> <li>・カルチャー土曜塾では、児童が普段できないようなスポーツを行う事で、スポーツに更なる興味を持つ事ができた。</li> <li>・バドミントン教室、ニューススポーツ体験会ともに小学生から大人まで幅広い年齢層の参加者があった。</li> <li>・「スポーツ推進支援事業補助金」を交付することにより、スポーツ優秀者に対する支援を実施し、村民総スポーツの発展に寄与した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューススポーツ、パラスポーツ等の普及による、スポーツ人口の増。</li> <li>・スポーツリスク(救急救命、熱中症等)に対する講習会の実施</li> </ul>

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	村民の健康・体力づくりの重要度は極めて高い。	A		A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。 補助金事業については予想を上回る申請があり、村内のスポーツ競技者の実態把握ができた。	A	評価基準の見直しが必要なのでは	A
目標等の達成度	補助事業の新設により、スポーツ優秀者に対し、支援することができた。	A		A
関連波及効果	村外の方がイベントに参加することにより、村のPRにつながった。	A		A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	社会体育一般(チューリップマラソン、12hソフトバレー、ニュースポーツ等)			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算 賃金、負担金補助及び交付金等	3,338	県支出金 450 一般財源 2,737	繰入金 151
	実績 賃金、負担金補助及び交付金等	3,258	県支出金 450 一般財源 2,657	繰入金 151
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 賃金、負担金補助及び交付金等	3,156	県支出金 360 一般財源 2,796	
(令和2年度)	計画 賃金、負担金補助及び交付金等	3,078	県支出金 360 一般財源 2,718	
(令和3年度)	計画 賃金、負担金補助及び交付金等	3,078	県支出金 360 一般財源 2,718	

教育委員の意見・指摘

<b>第1章 人を愛する豊かな心を育てよう</b>		実施主体	( )村直営 (○)団体 ( )その他		
4. 社会体育の振興 1) スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30) ②各種大会の開催	実施期間	継続	団体等 村体育協会、村民運動会実行委員会

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民運動会(10月14日:約600人(競技参加者延べ人数)) ※雨天によりトレセンで実施</li> <li>・村民球技大会(7月1日 ソフトボール:116人 ペタンク:69人)</li> <li>・村民球技大会(9月9日 グラウンドゴルフ:雨天中止 ソフトバレーボール:76人)</li> <li>・村民球技大会(3月3日 バドミントン:80人 卓球:55人)</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民運動会は、村民主体の実行委員会形式で開催できた。</li> <li>・各種球技大会は、参加者の体力向上に寄与するとともに、自治会ごとの交流・親睦の場として役立った。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民運動会競技の見直し</li> </ul>

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	地域の繋がり、交流、親睦の場は重要度が極めて高い。	A		A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	昨年同様。	C		C
関連波及効果	自治会対抗の大会であり、親睦が深まった。	A		A

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	社会体育一般(スポーツ大会、運動会)		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算 負担金補助及び交付金	765	一般財源 765
	実績 負担金補助及び交付金	626	一般財源 626
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 負担金補助及び交付金	769	一般財源 769
(令和2年度)	計画 負担金補助及び交付金	769	一般財源 769
(令和3年度)	計画 負担金補助及び交付金	769	一般財源 769

教育委員の意見・指摘
教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	( )村直営 (○)団体 ( )その他		
4. 社会体育の振興	施策	(P30)	実施期間	継続	団体等	スポーツ少年団
1)スポーツ・レクリエーション活動と施設整備		③少年スポーツの健全育成				

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球(9人)、サッカー(14人)、ミニバスケットボール(46人)、バドミントン(14人)の4種目の活動を行った。(空手 休部)</li> <li>団員の増加を図るため、体験入部を2回実施した。(18人参加)</li> <li>スポーツ少年団の活動広報のため、入団募集映像を113chで放映した。</li> <li>奉仕活動として、海岸クリーン作戦、日野川一斉清掃に参加した。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部とも週に1~3回の活動を行い、健全な青少年育成・体力向上に寄与している。</li> <li>体験入部を2回実施した結果、13人(5月4人、3月9人)の入団があった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>種目ごとに団員数の偏りがある。</li> <li>スポーツ少年団指導者の認定指導者研修会への参加推進。</li> </ul>

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	青少年育成・体力向上の面からも、スポーツ少年団活動は重要度が極めて高い。	A		A
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	体験入部の実施もあり、団員が増加した。	B		B
関連波及効果	奉仕活動を通じて地域に貢献している。	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	社会体育一般(スポーツ少年団事業)			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算	負担金補助及び交付金	789	一般財源 789
	実績	負担金補助及び交付金	737	一般財源 737
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	負担金補助及び交付金	758	一般財源 758
(令和2年度)	計画	負担金補助及び交付金	758	一般財源 758
(令和3年度)	計画	負担金補助及び交付金	758	一般財源 758

教育委員の意見・指摘	

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
4. 社会体育の振興 1) スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30)	実施期間	継続	団体等	スポーツ推進委員
		④指導者の確保・育成				

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取県スポーツ推進委員研究大会(鳥取市)への参加(12月1日~2日)</li> <li>西伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会への参加(2月24日)</li> <li>カルチャー土曜塾 Let's スポーツ の指導を行った。(詳細は I-29)</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な研修会等に参加することにより、他の市・町の指導者との交流が図られた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進委員の活動を村内外に周知する必要がある。</li> </ul>

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	各種スポーツ活動をリードする指導者の確保・育成は重要度が高い。	B	指導者の育成は重要度が高いと思います	B
コストパフォーマンス	概ね昨年の同様の予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	県、郡主催の研修会等に参加し、研鑽を深めた。	B		B
関連波及効果	特に波及効果なし。	C		C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	社会体育一般(スポーツ推進委員)			
		支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予額算	報酬	262	一般財源 262
	実績	報酬	260	一般財源 260
(平成31年度) (令和元年度)	現予額算	報酬、費用弁償等	460	一般財源 460
(令和2年度)	計画	報酬、費用弁償等	460	一般財源 460
(令和3年度)	計画	報酬、費用弁償等	460	一般財源 460

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
4. 社会体育の振興 1) スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30) ⑤施設の適正管理と有効利用	実施期間	継続	団体等	スポーツ振興審議会

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設において、各種団体がスポーツ活動により体力づくりを行い、村内外の企画による各種大会では、スポーツを通して交流する場となった。</li> <li>3月にスポーツ振興審議会を開催し、施設の有効活用について審議した。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理担当課間で連携を図り、施設の有効活用ができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の更なる有効活用を図り、多くの方に施設を使用してもらおう。</li> </ul>

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	施設の有効活用については重要度が高い。	B		B
コストパフォーマンス	概ね当初計画していた予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	昨年同様。	C		C
関連波及効果	特に波及効果なし。	C		C

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	社会体育一般(スポーツ振興審議会)			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算 報酬	18	一般財源 18	
	実績 報酬	15	一般財源 15	
(平成31年度) (令和元年度)	現予算 報酬	18	一般財源 18	
(令和2年度)	計画 報酬	18	一般財源 18	
(令和3年度)	計画 報酬	18	一般財源 18	

教育委員の意見・指摘	

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ( )団体 ( )その他		
5. 人権尊重・同和問題への取り組み	施策	(P30)	実施期間	H18～	団体等	
		①「あらゆる差別をなくす総合計画」の策定	継続			

平成30年度実施状況	
実施状況	・平成29年7月に「日吉津村における部落差別をはじめあらゆる差別をなくす総合計画」を策定。
成果等	
課題	・総合計画の実施状況の把握、情報共有のあり方。

平成30年度施策評価					
評価項目	庁内評価			教育委員評価	
目的等の重要度	人権意識を持った行政事務の執行について重要度が高い。	A			A
コストパフォーマンス		-			-
目標等の達成度		-			-
関連波及効果		-			-

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	人権・同和教育			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算		-	
	実績		-	
(平成31年度 (令和元年度))	現予算		-	
(令和2年度)	計画		-	
(令和3年度)	計画		-	

教育委員の意見・指摘	

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ( )その他		
5. 人権尊重・同和問題への取り組み	施策	(P31)	実施期間	継続	団体等	村人権・同和教育推進協議会
		②人権・同和教育研修の充実				

平成30年度実施状況	
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇行政関係職員研修、協議会委員研修</li> <li>・部落解放・人権西日本夏期講座(6月28～29日 米子市 参加者20名)</li> <li>・人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会(8月8日 鳥取市 参加者10名)</li> <li>・全国人権・同和教育研究大会(11月16～17日 滋賀県 参加者2名)</li> <li>◇学校教育との連携</li> <li>・6年生の人権学習フィールドワークを受け入れた。</li> </ul>
成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種大会に参加することで、他団体の実践や活動状況から地域が一体となって取り組むことについて理解を深めた。</li> <li>・6年生の人権学習フィールドワークをととして、社会教育と学校教育の交流推進が図られた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に取り組めるような研修内容の充実。</li> <li>・社会教育と学校教育に関係する各種団体との連携の推進。</li> </ul>

平成30年度施策評価			
評価項目	庁内評価		教育委員評価
目的等の重要度	人権尊重社会の実現は重要度が極めて高い。	A	A
コストパフォーマンス	おおむね昨年同様の予算で施策を実施できた。	C	C
目標等の達成度	部会委員の主体性が向上した。	B	B
関連波及効果	自治会等での活動の活性化につながる。	B	B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)			
年度	人権・同和教育		
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)
平成30年度	現予算	報償費等	97 一般財源 97
	実績	報償費等	96 一般財源 96
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	報償費等	205 一般財源 205
(令和2年度)	計画	報償費等	205 一般財源 205
(令和3年度)	計画	報償費等	205 一般財源 205

教育委員の意見・指摘

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		(○)村直営 (○)団体 ( )その他	
5. 人権尊重・同和問題への取り組み	施策	(P31)	実施期間	継続	団体等	村人権・同和教育推進協議会
		③村人権・同和教育推進協議会の活動推進				

平成30年度実施状況	
実施状況	<p>・村と村人権・同和教育推進協議会が、小地域懇談会、チューリップセミナー、村人権・同和教育研究集会を共催。</p> <p>(1)村人権・同和教育研究集会:小学生の人権学習発表、中学生の人権作文。ドキュメンタリー映画「1/4の奇跡」上映。1月20日開催 参加者60名。</p> <p>(2)チューリップセミナー:講演「私はこうして日本の社会に溶け込んだ」講師 林祖財さん。12月13日開催 参加者29名。</p> <p>(3)小地域懇談会:3自治会で開催</p> <p>①海川17月8日開催 参加者18名 ②今吉1月27日開催 参加者17名 ③富吉2月17日開催 参加者14名)</p>
成果等	<p>・各部会の委員が小地域懇談会、チューリップセミナー、村研究集会を行った。</p> <p>・村人権・同和教育推進協議会委員が主体で行うことにより、人権に関する学びが深まった。</p>
課題	<p>・協議会活動を委員主体で活動出来てきた。今後も継続していくことが必要。</p> <p>・リーダーの育成並びに村民全体の意識の高揚と啓発活動の推進。</p>

平成30年度施策評価				
評価項目	庁内評価		教育委員評価	
目的等の重要度	人権尊重社会の実現は重要度が極めて高い。	A		A
コストパフォーマンス	おおむね昨年同様の予算で施策を実施できた。	C		C
目標等の達成度	部会委員の主体性が向上した。	B		B
関連波及効果	自治会等での活動の活性化につながる。	B		B

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)				
年度	人権・同和教育			
	支出の積算内訳	金額	財源内訳(特財等)	
平成30年度	現予算	負担金補助金及び交付金	299	一般財源 299
	実績	負担金補助金及び交付金	217	一般財源 217
(平成31年度) (令和元年度)	現予算	負担金補助金及び交付金	273	県支出金 136 一般財源 137
(令和2年度)	計画	負担金補助金及び交付金	273	県支出金 136 一般財源 137
(令和3年度)	計画	負担金補助金及び交付金	273	県支出金 136 一般財源 137

教育委員の意見・指摘	
学校、家庭、地域の連携と、息の長い取組みが必要	